

快適なライフスタイルを提案

部屋の印象というものは、壁の色、カーテンの色が違うだけで全く変わってしまう。そこでサンリビングではお客様の細かなニーズに応えるため、充分な打ち合わせの中で得た情報をもとに顧客オリジナルのサンプル帳を作成し、丁寧な提案をしている。センスが問われる仕事だけに、普段の勉強や感性磨きには余念がない。

「大きな飛躍は考えていません」とは社長の弁。こつこつ一歩ずつ歩みを進めていきたい、という社長の言葉から、誠実で堅実な仕事ぶりが垣間見える。内装をはじめ、家具やインテリアまで扱うことで、よりトータルなコーディネートが可能となった今、ショールームを持ちたいという目標を胸に誠心誠意の仕事を続けている。



施工例

んがお生まれになれば、子ども用の家具を購入いただいたり、子どもさんの結婚を機に増改築されたり、20年、30年の間には外壁の補修やクロスの貼り替えのご依頼をいただくこともあるのです。代替わりされても、引き続きお付き合いいただいているお客様もいらっしゃいます。

大門 お話をうかがっていますと、これまで順調に歩んでこられたように思うのですが…。

岩平 以前の会社に厳しく育てていただいたことで、いろいろなことを学びましたし、当時のお客様から引き続き仕事をいただくことができましたので大変助かりました。当初は1人で動いていましたが、半年後にスタッフを入れることができ、さらに仕事の幅が広がりました。

大門 振り返られて、独立して良かったとお感じですか。

岩平 それはつくづく感じています。自分で納得できる仕事で、お客様に喜んでいただける。企業の中で動いていた時とは違って、お客様との距離が縮まった気がして、やりがいと充実感を感じています。以前、近くの病院の発注で、待ち合い室の椅子やベッドといった家具類、内装まで全て私共で手掛けさせていただきました。病院ということもあって、メンタルな部分を大事にしなければならないと配色には特に気を遣いましたが、とても喜んでくださっているようです。

大門 センスが問われるお仕事ですね。

岩平 ええ、壁紙1つ違っただけで部屋のイメージが変わりますから、コーディネーターの面も合わせ持った仕事です。

大門 社長にとってこのお仕事の魅力はと言いますと。

岩平 お客様が気に入って下さり、「ありがとうございます」と感謝の気持ちを言ってくれた時は、感無量です。家の内部ということで常時お客様の目に触れ、その良さがもろに実感できる部分ですから、ある種結果がすぐに分かる厳しい仕事だと言い換えることができます。また、その反面やりがいも大きいということです。

大門 その辺り、スタッフの皆さんに注意なさっていることはありますか。

岩平 職人の人たちには現場に入る際と出ていく際の挨拶、それに後片付けを徹底するよう注意しています。また、増改築の場合は、お客様が生活なさっている場に我々がお邪魔するわけですから、失礼のないよう言葉遣いや身だしなみに気をつけるよう指導しています。皆で勉強

会を開くこともあるのですが、各自で問題意識を持って新しいものを吸収し、技術を磨くよう努力してくれています。皆が仕事に対して真摯ですし、いいスタッフを持ったと喜んでいるのです。

大門 今後の展望についてはどのようにお考えですか。

岩平 ここは今、事務所という形ですが、将来は「ショップ・サンリビング」という形でアンテナ店を出したいと考えています。カタログだけではお客様に伝わりにくいくところもありますので、実際手に取っていただいたり、実物を目にする事で納得していただけると思うのです。ただ、店舗依存型にはなりたくありませんので、丁寧な応対と十二分な説明を通じ、これまで同様、お客様に喜んでいただける仕事を続けていく所存です。そして、このまま着実に事業を伸ばしていければ嬉しいですね。

大門 今日は、ありがとうございます。

(取材/平成9年12月)

